

目的や場面、状況に応じて、 英語で即興的なやり取りを継続できる生徒の育成 — 言語活動を活発にするBell workを通して —

特別研修員 外国語 小池 瑞紀 (高等学校教諭)

〈生徒の実態〉



- ・自分の意見や考えを伝えることが苦手
- ・自分の意見や考えを表現するための語彙や文法知識が不足している
- ・日常生活の中で、英語を使う機会が少ない

〈目指す生徒像〉



目的や場面、状況に応じて、
英語で即興的なやり取りを継続できる生徒

授業開始直後のBell work 1

～ 2分間会話を継続させるロールプレイ ～
与えられた情報を基に、設定された場面や状況に応じてペアでのやり取りを行う

	Name	Timothy	Favorite game
	Nationality	The U.S.A	Hobby
	Age	26	Occupation
			Family
	Name	Julia	Occupation
	Nationality	India	Favorite animal
	Age	33	Family
			Hobby
			Religion



- ・ロールプレイで即興的な受け答えができた！
- ・論理性に注意して伝えることを意識できた！

Bell workとは…

授業開始のチャイム直後及び
授業終了のチャイム直前
に行う帯活動

その他の授業内の活動

授業で学んだことや得た情報について、
発表の場や友人同士で
意見交換を行う機会を設ける

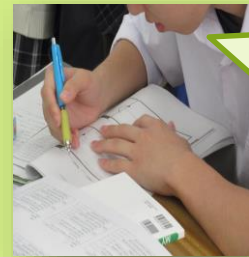


- ・スピーチで自分の考えを分かりやすく伝えることができた！

授業終了直前のBell work 2

～ 自分の意見を表示するライティング ～
授業で学んだことの振り返りや教師の発問に関して、自分の意見を毎時間記述する
最初は日本語→英語、その後、直接英語で

1. Day _____ Lesson _____ Section _____	
日本語で書く	英語で書く
自分の意見	教師の発問
自分の意見	教師の発問



- ・授業の感想を日本語に頼らず書けた。
- ・意見が整理できて明確になった！
- ・接続詞を使って論理的に文章が書けた！

成果



- ・単語だけでなく、まとまりのある文で即興的な受け答えができるようになり、会話が継続性のあるものになった。
- ・分かりやすく伝えることを意識した記述ができるようになり、接続詞や例示表現等を効果的に用いることができるようになった。
- ・Bell work 1,2及びその他の活動が相互に影響し、言語活動が活発になり、スピーキング力とライティング力が向上した。

課題



- ・安易な表現を繰り返し用いたり、模範例をまねることにとどまってしまう生徒もいたため、使える表現の幅を広げる指導が必要である。
- ・文法的な間違いに気付くことができない生徒が多く、今後は英語の正確性に注目させる指導が必要である。